

環境保護を訴える広告活動

a2200401 安藤麻美

研究の背景

2005年は京都議定書が施行されたこともあり、社会や企業が環境に良い物を作り始めてきている。これは、私たちは常日頃の身の回りの環境に目を向けるちょうど良いタイミングである。そして年々環境問題が深刻化してきており更には地球環境の変化が深刻になってきている。少しでも環境の事を考えてもらうために、身の回りのゴミ問題を取り上げることにした。

制作の意図

今回私はどのように訴えたら、市民の方々にゴミについてもっと関心を持ってもらえるかを考えた結果、まず最初に市のゴミ対策課に行き、市民の方々からどのような質問があったのかということをお聞きした。また、逆に対策課から市民の方々に対する要望をお聞きした。すると、分別やリサイクルが重要だというお話だったので、分別・リサイクルを訴えるものを作ろうと思った。

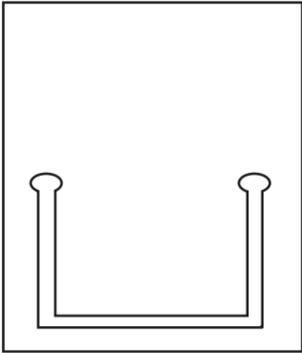
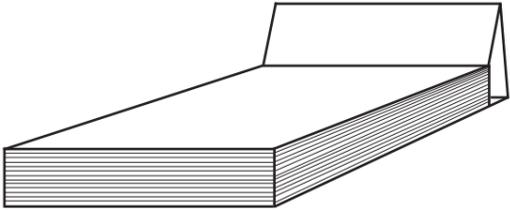
そして、チラシなどでは実際に見る方は少なくその後ゴミになってしまうということで、チラシ以外の手元に残るものとしてグッズを作り訴えることにした。

制作方法

詳しくは右図の通り。

制作経過

1. 立案
2. 環境団体の活動内容の調査
3. 環境団体への資料請求
4. 会津若松市廃棄物対策課への訪問・調査
5. 調査結果をふまえての検討
6. モデル制作
7. 完成

ケース	使用方法	基本形態
A	<p>基本の分別を覚えにくい</p> <p>マグネット ・マグネット自体に収集日が書かれているので、収集日を覚える。 ・マグネットなので、気軽に金属で有ればどこでも使える。</p>	
B	<p>リサイクルを常に考える</p> <p>メモ帳 ・ぱっと使用が出来る。 ・マグネットと合わせて使用することが出来る。 ・年齢問わず使用される。</p>	
C	<p>分別をしっかりして欲しい</p> <p>分別シール ・店頭で売っているような分別のゴミ箱を使っている人が少ないので、シールを貼ればすぐに分別ゴミ箱になる。 ・デザイン性を考え、絵はピクトグラムを使用。</p>	
D	<p>ゴミ出しカレンダーが見にくい</p> <p>分別カレンダー ・ゴミ収集日が一目で分かるように、色が塗られている。 ・色分けだけなので、普通に予定を書き込んだり出来る。</p>	